

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年10月14日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから10月14日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、10月18日の（1）第1081回審査会合です。これは特定重大事故等対処施設が議題なので非公開となっています。

議題は1つで、東海第二の設工認ということになります。

次が、10月20日の（4）核燃料施設等の廃止措置の審査会合です。

議題は1つで、ふげんです。

事業者のJAEA（日本原子力研究開発機構）のほうで既に公表されていますけれども、工法を変更するので工程も延びますと。7年ほど延びますということのようでしたので、その点について改めて説明があるということのようです。

次に、2ページ目にいきまして、10月20日の（5）第1082回の審査会合です。

議題は1つで、柏崎刈羽6号機の新規制基準の設工認です。

具体的には、例の杭の損傷の件になりまして、7月28日の審査会合で杭の件の追加調査の報告がありましたけれども、そのときに出てきたコメントへの回答ということのようで、何か新しい調査結果みたいなものが出るわけではないということのようです。

次が、10月20日の（6）緊急時対応に係る訓練及び規制の関与の在り方に関する会合ということですが、これは第4回とありますけれども、2月、4月、7月に続いて4回目というものです。

議題は2つありまして、1つ目は、各課題の検討状況についてとありますけれども、ATENA（原子力エネルギー協議会）のほうから報告があります。8月17日の委員会で、訓練について幾つか試行します、試していきますということになりましたけれども、具体的にどこのサイトでどれを試すのですかということがATENAから報告されることとなります。

2つ目は、訓練の試行に係る評価指標案ということで、試行するということですが、それをどうやって評価するのか指標の案、これは規制庁側から示すということになっています。

次が、10月21日の（7）第1083回審査会合です。これも特重が議題なので非公開となっ

ています。

議題は1つで、女川2号機の敷地の地質構造についてということになります。

次が、10月21日の（8）第1084回審査会合です。

議題は1つで、泊3号機です。

これは震源を特定せずについて、前回8月5日の審査会合でおおむね了という感じになりましたので、今回まとめて全体の説明をするということになるようです。

震源を特定せずがそれでまとまりますので、震源を特定するほうは去年既にまとまっていますので、それを合わせて基準地震動策定という議論に新しく入るということになります。その点は今回初めてということのようです。

次が、10月21日の（9）核燃料施設等のほうの審査会合です。

議題は1つで、日本原燃の再処理施設の設工認ということになります。

これは先日、申請の補正が出まして、8月8日に審査会合をして、今後の進め方みたいな議論がなされたようですけれども、その後の進捗状況を再度確認することのようです。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

では、カンダさん、

○記者 時事通信のカンダですけれども、確認ですが、泊3号機の10月21日の審査会合ですが、この日にSs（基準地震動）策定の議論にも入るとのことですか。

○黒川総務課長 はい。そうです。

○記者 分かりました。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—